

「諏訪大社復興記」を再刊

宗教法人設立70年を機に

宗教法人諏訪大社設立70周年を機に再刊した「諏訪大社復興記」



諏訪大社は、宗教法人諏訪大社設立70年を機に、由緒や歴史をまとめた書籍「諏訪大社復興記」を再刊した。第二次世界大戦の敗戦から復興した歩みを、神話時代にさかのぼって記録した同書は長らく希少本だったが、15日から一般へも頒布する。

明治国家の管理下にあった神社が敗戦後に宗教法人とし

て再出発した際、1953年に諏訪大社は設立。唯一の公式書でもある同書は、失った土地を買い戻し、戦後の混乱が落ち着いた63年、資料の散逸を防ぐため上梓された。概要をまとめた前編と復興過程を記した後編の2部構成。前編は鎮座の由来や祭神、神事など。後編は神社制度の変遷、57年に消失した上

社前宮十間廊の再建、戦時中の金属供出により撤去された清水多嘉示制作の下社秋宮の大狛犬を60年に復元した経緯などが書かれている。

再刊に当たり、誤植の修正と一覽へ現在までの宮司の名前を加筆するにとどめ、初版のままとした。諏訪大社は、多くの崇敬と支えにより苦しい時代を乗り越え、今があると分かる。未来へ守つていく指針が示されている」としている。

A5判308頁。
頒布は本宮と秋宮の授与所で、初穂料1万円。問い合わせは諏訪大社総務課下社秋宮社務所（電話0266・27・8035）へ。

（飛矢崎貴規）